

葛西用水の整備について

Q 平成23年度に予定されている伊草橋から松之木小学校までの具体的工事内容について

A 葛西用水の親水化整備については、平成20年度から埼玉県「水と緑の田園都市・水辺再生都市」の補助を受け、平成21年度に伊草橋から上流の伊草天神橋までの区間約150mを整備いたしました。

平成22年度におきましては、伊草天神橋から上流の草加市境までの区間約100mを第二期工事として整備する予定です。質問の伊草橋から松之木小学校の北側までの区間約200mに

ついての整備も計画に位置付けております。整備内容は確定しておりませんが、葛西用水の両側の市道は4mと比較的狭く、今度の場所は6mとやや広いため、市道を活用し、景観を損ねている鋼矢板護岸を土砂等により隠す形で法面を盛土するとともに、緑色のネットフェンスを景観に配慮したものに改修し、かつ、散策やウォーキングを行っている市民の皆さんのためにベンチ等の休憩施設の設置を考えています。なお、埼玉県に補助事業の提案をしています。

豊田 吉雄

福祉行政について

Q 高齢者や障がい者の安心安全のために、救急医療情報キットの配布について

A 救急医療情報キットは、高齢者や障がい者の方が一

の際に、救急隊が現場に到着し、本人や関係者から情報を得られない場合に、かかりつけの病院や病歴、また、緊急の連絡先など必要な情報を得ることができ、救急活動上、迅速な対応ができることから、有用であると考えており、各自自治体において、配布の広がりを見せる傾向であります。また、このキットは保管する場所が冷蔵庫という点にお

いても、容易に見えなくなる利点があります。

武之内 清久

住宅施策について

Q 身寄りのない高齢者等が賃貸住宅を借りる際、保証人や緊急連絡先が立てられず苦慮することが多くなっています。

A 国土交通省と厚生労働省が連携して推進している事業として、横浜市では、入居を希望する方が、市の指定する保

証会社と契約し保証料を支払い、保証人の代わりに家賃等の滞納保証を行う「横浜市民間住宅あんしん入居事業」を実施しています。八潮市も、この取り組みを参考に市内の関係部署とも連携を図りながら、高齢者等に配慮した総合的な住宅施策に向けて、調査・研究していきたいと考えています。

証会社と契約し保証料を支払い、保証人の代わりに家賃等の滞納保証を行う「横浜市民間住宅あんしん入居事業」を実施しています。八潮市も、この取り組みを参考に市内の関係部署とも連携を図りながら、高齢者等に配慮した総合的な住宅施策に向けて、調査・研究していきたいと考えています。

郡司 伶子



子ども医療費給付について

Q 子育て家庭から求められる事は保育所の整備等、多岐にわたる中で、健康の観点から医療に関する負担が大きく占めております。本市としても子育て支援の充実に力を入れて頂き、子育てしやすい街として、子ども医療費の拡充をと思いますが、このことについてお尋ねをいたします。

A 実施には多大な費用がかかることが見込まれ、国の少子化対策に関する施策、医療制度の動向、県の補助金や他市町村の状況を見極めながら、市の財政状況なども考慮した上で

小倉 順子

慎重に検討する必要があると思いますので、ご理解を賜りたいと存じます。



シルバー人材センターについて

Q 高齢化時代を迎える中、実した生活を送りたいと考える人たちが多くなっています。その一方で最近では、景気の低迷もあり「仕事がなくなっている」という声を会員さんからお聞きします。就業先の確保について伺います。

A 100年に一度と言われる景気の悪化状況の中、センターにおいても大きな影響を受けており、受注件数は、前年度に対して21年度は55件の受注減という状況で、これに伴い就業人員も減少になっていきます。

岡部 一正

就業先の確保については、口コミによる波及や公共施設へのリーフレットの配布、特定郵便局での封筒に広告掲載するといった周知等を行い、求人・求職活動を行っています。また21年度では、市内小中学校PTA美化活動にボランティアとして参加し、活動を通じて周知するといった新たな試みも行っている状況です。

就業先の確保は大きな課題であり、今後もより効果的な周知方法を検討していくことが必要であると思われれます。

水道施設の耐震化について

Q 八潮市は老朽化した施設を更新するために、平成17年度から平成25年度までに約33億円の事業を実施するとしていますが、それにより耐震化率はどのくらい改善されますか。

A 本市では、平成16年度に水道事業経営健全化計画を策定しており、本計画は、平成17年度から平成25年度までの9年間に、約33億円の事業費を投じ、中央浄水場の更新整備事業や石綿セメント管等の更新事業、また安定給水に不可欠な配水幹線の整備を目的とした配水ルー

ト新設事業などを実施するもの

でございます。当計画における石綿セメント管や老朽化鉄管を耐震管に布設替えした場合、配水管の耐震化率は、3・5パーセント改善されると見込んでおります。なお、毎年度、土地区画整理事業等において新設されます耐震管も含めると、平成25年度末の耐震化率は、約15パーセントになるものと考えております。

宇田川 幸夫

でございます。当計画における石綿セメント管や老朽化鉄管を耐震管に布設替えした場合、配水管の耐震化率は、3・5パーセント改善されると見込んでおります。なお、毎年度、土地区画整理事業等において新設されます耐震管も含めると、平成25年度末の耐震化率は、約15パーセントになるものと考えております。